

# ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成28年4月15日号

第29号

発行 社会福祉 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター  
法人 人  
〒314-0121 神栖市溝口1746番地1  
TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750  
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>  
※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます  
メールアドレス [mail@kamisushakyo.com](mailto:mail@kamisushakyo.com)



## 神栖市内で活動するボランティア ワ ム バルーンアート wa'mくーる

上記の写真は、3月27日にうずもコミュニティセンターで行われた神栖市母子寡婦福祉会主催の「新入学児を祝う会」。この春、小学校新1年生になる子ども達が集まるので、一緒に盛り上げてほしいとの依頼が主催者からあり、wa mくーるのメンバーがお邪魔しました。

『バルーンアート wa mくーる』は、平成25年5月に結成。バルーンアートボランティアとして、現在8名で市内のイベントを中心に活動しています。

活動も今年で3年目を迎え、わくわく体験フェア（旧緑化祭）の様な大きなイベントや児童館、女性・子どもセンターなどから、バルーンアート教室の依頼が寄せられています。

わくわく、ドキドキ、バルーンアート！

まずは、wa mくーるメンバーの見本作品作りからスタート。子ども達は、どんな作品が出来上がるか、わくわくしながらメンバーの手元を真剣に見つめます。そして、風船をねじる度に聞こえる「キュッキュッ」と割れそうな音にドキドキ。徐々に作品が形になると、子ども達とお母さん達から「すごい！キレイ！」と歓声が上がりました。

そのあと、子ども達は、wa mくーるのメンバーに手取り足取り教えて貰い、思い思いにお花や犬、サルなどの素敵な作品を作り上げました。



自作したお気に入りのバルーンアートを持つ子ども達と当日イベントを盛り上げた4人のwa mくーるの皆さん。

裏面に続く

輪が広がってできたグループです

代表の佐藤さんは、お子さんが通っていた幼稚園でバルーンアートに出会い、色々な人に体験して貰いたいとボランティアセンターにボランティア登録しました。その登録がきっかけとなり、平成25年3月、神栖社協主催の「ハッピーバルーン教室」の講師を引き受けて頂きました。その後、佐藤さんと講座の受講者が交流サロンで定期的にバルーン教室を開催するようになりました。



交流サロンに桜が咲きました。  
毎月の活動後にバルーンアート作品で交流サロンに四季の彩りを添えています。過去の作品はホームページの「交流サロン利用状況」でも確認できます。  
<http://www.kamisushakyo.com/vc/>

<グループ名の由来>

グループ名は、warm(暖かい)とcircle(輪)の単語を合わせ「暖かい輪」を意味しています。更に、語尾の「くる」には、「人が集まる=人が来る(くる)」という意味も掛けています。

「魔法の時間」をご一緒しませんか？

メンバーは、毎月1回(第3火曜日 午前10:00~12:00 次回は4月19日)、交流サロンに集まり和気あいあいと作品作りをしています。グループでは、この2時間の活動を『魔法の時間』と呼んでいます。バルーンアートに触れる楽しい時間は、魔法にかけられたかのように、あっという間に時間が過ぎてしまいます。



定例の交流サロンの活動。  
メンバー間で作品の情報交換をしながら交流を図っています

「私たちは、水面に広がる波紋のように神栖市からバルーンアートを通じて人の輪、人の笑顔を広げていきたいと思っているグループです。バルーンアートを親子で楽しみたい方、子ども会や地域のイベントで活用してみたい方、ちょっと興味がある方など、一緒に楽しいバルーンアートの世界に触れてみませんか。魔法の時間が貴方をお待ちしています。」と佐藤さんよりお話し頂きました。

【問合せ先】バルーンアートwa'mくる 佐藤 Tel:080-5537-4815 ボランティアセンター 下田 Tel:0299-93-1029

シリーズ

おじゃまします♥わくわくサロン **ほっとサロン** 編

3月15日(火)、大野原児童館において、『ほっとサロン』が開催されました。この日のプログラムは、みんなが得意とする手芸です。参加された10名がそれぞれ自分の好きな色の毛糸とカギ針を持ち寄り、帽子作りを行いました。お話し好きなメンバーも真剣に黙々と作業を続け、ときには「あなた上手に編んでるわね。」「編むのが早いね。」と声を掛け褒め合う、微笑ましい一面もありました。

平成9年4月にスタートし、今年で19年目を迎えたほっとサロン。「大野原にお住まいで“ほっとサロン”に興味のある方はぜひ遊びに来て下さい。スタッフも大歓迎です。そして高齢者が身近な場所に気軽に集まれるサロンが市内にたくさん増えて欲しいです。」と代表の菊池さんは語ってくれました。

ほっとサロンは、毎月1回(第1火曜日10時~13時)大野原児童館で開催しています。



どんな帽子が出来上がるか楽しみです

サロンは、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。神栖市社協では、わくわくサロンづくりと運営のお手伝いをしています。

お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-1029(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで





# アジアに届け!! 空飛ぶ車いすin神栖



丁寧な作業で車いすを修理していきます

日本では年間5万台以上の車いすが破棄されています。「空飛ぶ車いす」は、使われなくなった車いすを修理・再生（屋外や未舗装の道路環境で使用してもパンクしないように、チューブレスタイヤに交換）し、アジアの人たちに贈る活動です。

神栖市でも、平成23年1月に元機械修理技術者の男性たちが、ボランティアグループ「空飛ぶ車いすin神栖」を結成し、車いすの海外支援活動に参加しています。結成当初は東日本大震災が発生した年でもあったため、東北地方へ

15台、その後はモンゴル、台湾、韓国、タイ、スリランカ、ネパールなどを中心に65台の車いすを贈っています。また、活動で培った経験を活かし、神栖市社協の貸出用車いすの点検等も行っています。市内で車いすを使用している方のご自宅を訪問して車いすの点検や修理もできますので、ご希望の方はボランティアセンターまでご連絡ください（修理部品代は実費をいただきます）。

活動日時：毎月第2・4水曜日 午前10時～12時

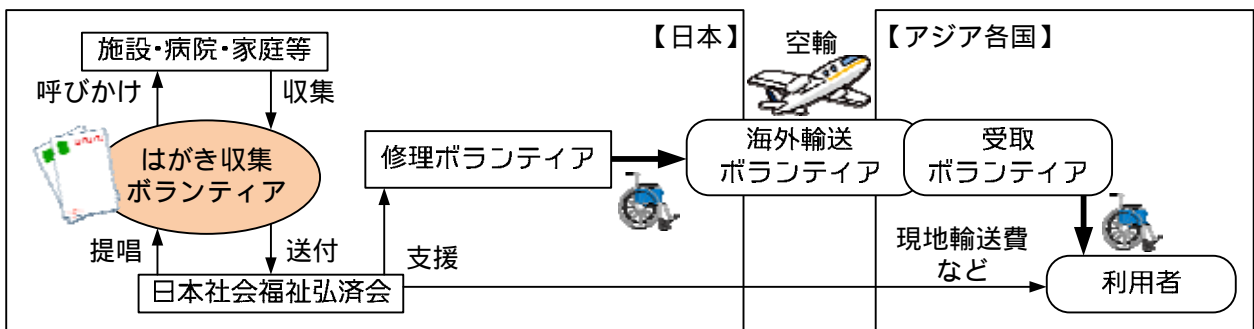
活動場所：神栖市保健・福祉会館 2階 ボランティアセンター交流サロン

問合せ先：神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL 0299-93-1029（担当：下田）



## はがき1枚から始まるボランティアリレー

「空飛ぶ車いす」の活動資金の源となるのは“ハガキ”です。タイヤ購入費や輸送費、活動広報などに活用されています。ご家庭にある未使用・書き損じのハガキ、また記念切手などの未使用切手などがありましたら、ボランティアセンターまでお寄せください。ご協力をお願いします。



## ハッチ主催「ムーブメント教育・療法」開催のお知らせ

ハッチは、一緒に楽しく交流する仲間を募集しています。神栖市内及び近隣にお住まいの特別支援学校や支援学級、保育所、幼稚園に通う児童やそのご家族、余暇活動を求める障害児・者とそのご家族、ムーブメントに関心のある方など、お気軽にご参加ください。

準備物：動きやすい服装と上履き、飲み物

参加費：無料 事前申込不要

お問合せ：ハッチ代表 早田恵子 090-9017-0052

(日本ムーブメント教育・療法協会認定上級指導者)



◆年間開催予定：

平成28年 4月17日	平成29年 1月 8日
5月 8日	2月 5日
6月12日	3月12日
7月10日	
8月 7日	※いずれも日曜日
9月18日	午前10時～12時
10月 2日	(受付9時30分～)
12月11日	

◆場 所：神栖市中央公民館 小ホール

ムーブメント教育・療法は、対象者の自主性、自発性を尊重し、「からだ(動くこと)」と「あたま(考えること)」と「こころ(感じること)」の調和のとれた発達を援助します。

地域で支え合う子育て支援活動・子育てのお手伝いをしてみませんか？

**受講者募集**

# 子育てサポーター養成研修を開催します

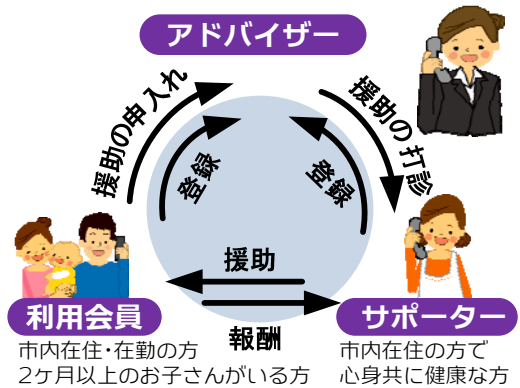


“かみすファミリーサポートセンター”は、安心して子育てができる環境づくりをめざし、子育ての手助けをして欲しい人(利用会員)と子育てのお手伝いをしたい人(サポーター)が登録し、地域で支え合う子育て支援活動を行っています。養成研修を受講後は「子育てサポーター」として登録し活動することが出来ます。子育て支援にご協力いただける方の参加をお待ちしています。

**研修プログラム** ★会場:神栖市保健・福祉会館2階会議室2  
★受講料:無料

ファミリーサポートセンターのしくみ

月日	内容	講師
1 日 目 6月8日 (水) 10:00~ 15:00	オリエンテーション	事務局
	神栖市の子育て支援サービス	市子ども課
	子育てを取り巻く環境と保育の基本	
	子どもの発達にあつたお世話のポイント&今昔	市保健師
2 日 目 6月14日 (火) 10:00~ 15:00	子どもの事故と安全及び緊急時の対応	神栖済生会病院 小児救急看護認定 看護師 高松薫氏
	成長時期にあつた子どもの遊び	市保育士
	サポート活動の流れと心構え	事務局



## 【サポート活動の主な内容】

- ★保育園、幼稚園、学校等の帰宅後や休みの時のお子さんの預かりや送迎
- ★家族の通院、美容院、買い物等の外出時の預かり

## 【活動料金】

- ★午前7時から午後7時 650円/時間
- ★午前6時から午前7時及び午後7時から午後10時 750円/時間

※研修後に登録された方は、実際の活動前に、すでに活動中のサポーターと同行しサポートを体験して頂きます。  
※サポート力向上のため、現在サポーターとして活動中の方も、この研修を受講することができます。

### 【申込先及び問合せ先】

神栖市社協神栖本所 0299-93-1029 (担当:高森、馬場)  
波崎支所 0479-48-0415 (担当:沢田、横田)



## ファミサポ体験記

ファミリーサポートを利用しているSちゃんママ、サポーターのAさんから活動についてそれぞれ感想を寄せていただきました。

### 【Sちゃんのママより】

ファミリーサポートを知ったきっかけは、病院の待ち時間にふと目にしたポスターです。仕事が忙しいと、子育てとの両立が大変と感じる瞬間があり、実家の両親にも頼めない時に利用しています。初めての利用は、娘も大泣きで私から離れようとせず心配でした。でも今ではすっかりサポーターさんに慣れて、ニコニコしているので安心して預けています。もっと早い段階から無理せずお願いしておけば良かったと思っています。



### 【Aサポーターより】

平成27年よりサポーターとして活動を開始し、赤ちゃんから小学生までの、幅広い年齢のお子さんのお預かりや送迎サポートをしています。毎回子どもさんの笑顔に癒され、幸せな気持ちでサポートを楽しんでいます。今日のSちゃんも、とても可愛いお嬢さんです。これからも、子育て中のママのお手伝いが続けられるように心身共に健康を心掛け、サポート活動を楽しみたいと思っています。



Aサポーターにおぶさり  
笑顔一杯のSちゃん♪